

森の川自然散歩

2020年2月号

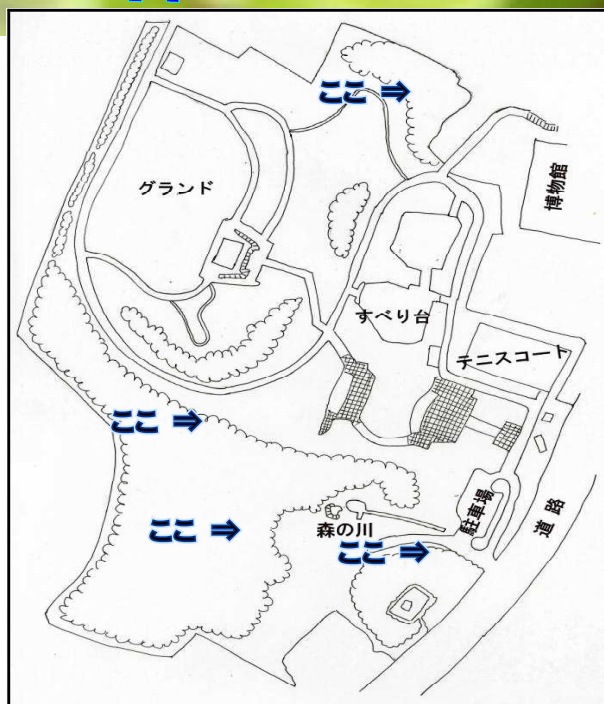


ツートーンカラーが目立つ森の悪戯っ子

上：うす暗い梢の中で、飛び立とうとしているシジュウカラの若い個体。

シジュウカラ（メモ）▶▶▶

- 体の大きさは14cmくらいで、スズメくらいのもので小形の鳥です。ほぼが白く目立ち、のどからお腹にかけての黒いたて帯が特徴です。
- 森川公園では、モクマオウのトンネル道やウガンヌカタの後ろの森、森川之塔そばの森などで見られます。時折、駐車場の樹木の梢にやってくることもあるよ。鳥そのものを見つけようと動き回るよりは、同じ場所にじっとしている方が見つけやすいよ。
- 早朝に、メジロやウグイス、スズメなどと群れをなして(混群といいます)、エサ採りをしながら、枝から枝へと渡っていくのを見かけます。



森川公園で見つける不思議

緑の公園には、不思議がいっぱい見つかります。

(35) アオカナヘビが見つかる日



(上)：シダの葉の上で休んでいるアオカナヘビのメス(沖縄市)。

アオカナヘビは、草むらや小枝の葉の上を動き回っている小形のトカゲで、緑色がメスで茶色がオスです。方言では「ナガジュー」、「ジューグァー」、「カラークェー」、「コーレーグェー」、「ジーカラークェー」などと、いろいろな呼び方をされています。こんなにいろいろな名前と呼ばれているのは、アオカナヘビがとても私たちの身近な動物であることの証明です。でも 1997 年から 1998 年に行われた、市史(自然編)の調査では見つけることができなかったそうです。しかし 2017 年に、私は大山貝塚の森で見つけることができました。森川公園もすぐ近くです。もう少し頑張ると、そのうち見つけられるかもしれませんね。

森川公園2月の花ごよみ

～ ノカラムシ ～

- 高さ100cmになる常緑の多年生草本で、琉球列島の石灰岩地などに生える主要な植物です。
- 海岸地よりは少し内陸部に入った場所で自生し、畑の周辺や空き地などに多く生えます。方言では「ウーバー」などと呼ばれています。
- 森川公園では森の川の周辺や、上の広場の周辺でよく見られます。葉の裏に細かい毛が生えていて、洋服に貼り付けるとよくくっつくところから、ワッペン草といって遊び道具にすることもあります。



上:野原の片隅に生えていたノカラムシ。

博物館で森川公園の見取り図をもらって、
自分が見つけた動物や植物をメモしていこう！

疑問や質問があったら、博物館の職員にいろいろ聞いてみてね。
宜野湾市立博物館 〒901-2224 宜野湾市真志喜 1-25-1
Tel:098-870-9317 Fax:098-870-9316

